

## 小学校五年

### ゆうチャレンジ 話すこと・聞くこと

この音声問題は、小学校第五学年国語問題の冒頭に放送するものです。

はじめに、小学校五年国語「話すこと・聞くこと」にチャレンジしましょう。  
今から一回だけ、問題を放送します。よく聞いて、あとの問題に答えてください。問題用紙は開かないでください。聞いていて大切だと思うことは、表紙の空いているところにメモをしてもかまいません。

なお、放送に出てくる山下泰裕<sup>やすひろ</sup>さんは、別の人が代わりに話しています。

田中さんは、道德の時間に、「熊本的心」の中で、熊本県出身の柔道家である山下泰裕さんのことを学習しました。オリンピックで金メダルをとった山下さんのことをもつとくわしく知りたいと思った田中さんは、山下泰裕さんに電話でインタビューをすることができました。

田中 こんにち。私は、熊本小学校五年生の田中です。オリンピック金メダリストの山下泰裕さんとお話できることを楽しみにしていました。今日はいくつか質問をさせてください。よろしくお願いします。最初に、オリンピックで金メダルをとったときの気持ちを教えてください。

山下 私が金メダルをとることができたのは、一九八四年のロサンゼルスオリンピックでした。オリンピックに出て、表彰台の一番上で日本の国旗を見ながら、国歌を歌いたいという願いがかなって、言葉では言い表せないほどうれしかったことを覚えています。そして、私は世界で一番幸せな男だと思いました。自分の努力だけでなく、柔道を教えてくださった先生、一緒に練習した仲間、そのほか、多くの方々の支援があつて、夢が実現したと思っています。このほか、金メダルを取った後の人生で大切にしてきたこともあります。

田中 大切にされてきたこととは、どのようなことですか。

山下 金メダルをとったことも、試合で何連勝したこと、過去のことです。それだけが大事なことでありません。柔道では、戦う相手は敵ではなく、自分を高めてくれる存在です。相手がいるから自分を高めることができるのです。柔道の最も大切な精神の一つは、戦った相手に尊敬の気持ちをもつことです。試合の前、そして試合後に行う「礼」には、相手への尊敬の気持ちがこめられています。私は、柔道を通して自分だけでなくほかの人のことも大切にすることを学びました。ですから、今、私は、柔道という面から世界中の国々と交流し、たくさんの方々の人々と信頼関係を築いていきたいと考えています。

田中 金メダルをとり、世界一になった山下さんが、自分だけでなく、ほかの人も大切にされていて、たくさんの方々の人々と信頼関係を築いていきたいと考えておられることが心に残りました。

山下 それでは、次に、夢の実現に向けて、私たち五年生に伝えたいことを話していただけますか。  
はい。五年生の皆さんには、自分の好きなこと、興味のあることなどを見つけて、それに自ら取り組んでほしいですね。また、自分の夢をもち、失敗を恐れず思いっきりチャレンジしてほしいと思います。

この後も、山下さんへのインタビューは続きますが、放送はこれで終わりです。  
それでは、問題用紙を開いて始めてください。